



平成 30 年 3 月 13 日

各 位

会 社 名 OUGホールディングス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 勝 田 昇
(コード：8041 東証第一部)
問 合 せ 先 常務執行役員 中 江 一 夫
経営基盤グループ
(TEL. 06-4804-3033)

特別損失の計上および通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 30 年 3 月期決算において、下記のとおり、特別損失を計上するとともに、平成 29 年 5 月 12 日に公表した業績予想を修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

当社は、グループの再編に伴い、グループの情報共有および意思決定を支援する統合基幹システムの開発を進めてきました。しかしながら、グループを一元化するシステムの稼働に至るコスト、期間にまつわる負荷が想定以上に大きく、今般、本システムの開発を中止することといたしました。

これにより、平成 30 年 3 月期決算において、システム開発に係る無形固定資産除却損 1,992 百万円を特別損失として計上する見込みであります。

2. 平成 30 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	322,000	2,600	2,100	1,500	271.94
今回修正予想 (B)	322,000	1,870	1,550	△250	△45.32
増減額 (B-A)	0	△730	△550	△1,750	—
増減率 (%)	0.0	△28.1	△26.2	—	—
(ご参考) 前期連結実績 (平成 29 年 3 月期)	320,401	2,645	2,151	1,742	316.37

(注) 当社は、平成 29 年 10 月 1 日付で普通株式 10 株につき 1 株の割合で株式併合を行っております。これに伴い、前連結事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1 株当たり当期純利益」を算定しております。

3. 修正の理由

輸入物を中心とする水産物調達価格の高騰は第 4 四半期においても続き、厳しい収益環境による売上総利益率の低下から営業利益、経常利益は、前回予想値を下回り、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、特別利益 (投資有価証券売却益 約 600 百万円) の計上を見込んでおりますが、上記 1. の特別損失を計上することにより、当期純損失の見込みとなりました。

なお、配当予想については、平成 29 年 11 月 9 日に公表した予想値から変更はありません。

(注) 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上